

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧（第36輯）の発刊にあたり

富山大学杉谷（医薬系）キャンパス研究活動一覧は、本輯で第36輯の発刊を迎えることとなりました。本誌は昭和53年の第1輯の発刊以来、医薬系キャンパスの学内の皆様の御協力を得て、医薬学図書館運営委員会の研究活動一覧編集委員会の委員の先生方のご尽力により発刊を継続することができています。特に本年は、歴代図書館長をはじめ関係各位のご尽力により、数年来の念願であった医薬学図書館の増改築が行われるなかでの発刊となります。

学生への学習支援や研究者に対する研究活動と知の生産への貢献が大学図書館には求められています。本図書館の増改築によりこうした図書館機能は大きく拡充することが期待されます。その中で、学術情報の蓄積と効果的な活用は本図書館の重要な役割と位置づけられています。

皆様の研究活動の毎年の絶え間ない努力により研究成果が積み重ね上げられ、富山大学での学問が発展し、その歴史が築かれていきます。これらを取り纏めた本業績集は、医薬系キャンパスの各講座や研究室等の著書、原著、総説、学会発表などが統一した書式でわかりやすく記載されています。このように、学術・研究業績を一冊の冊子に纏めることで、各講座や研究室での研究の現状を把握するための重要な資料となり、本誌が医薬系キャンパスの教員や学生の方々にとり、一層の自己研鑽を積む上での大きな役割を果たすことを願っています。

本業績集は、医薬学図書館のホームページや富山大学学術情報リポジトリ(ToRepo)をとおして一般に公開され、医薬系キャンパスの研究活動を広く発信しており、本キャンパスの研究活動が社会的な評価を得る上での一翼を担っています。学内においては、教員業績評価データの作成のための基礎的資料として活用されており、情報の共有により共同研究をはじめとした研究の活性化に繋がることを期待されます。

現在、富山大学では、本学の教員や学生の著作物を学術情報源として管理し、学外に研究成果をより広く公開すること目的として、学術情報リポジトリの充実が進められています。教員業績についても、一元的な管理をめざしてデータベースが構築されつつあります。本年度は教員業績データベースと連携した本業績集の作成に着手しました。今後もこれらのデータベースと連携を密にして、本業績集の利便性と有用性をより高めていくことが重要と思われまます。

終わりに第36輯の発刊にあたり、多忙の中ご尽力いただきました研究活動一覧編集委員会の先生方と医学情報サービスグループの皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも医薬学図書館に一層のご支援をお願い申し上げますと共に、本業績集が医薬系キャンパスの皆様の研究活動の益々の発展に繋がることを願っています。

富山大学医薬学図書館長 笹岡利安
Sasaoka Toshiyasu